

英国出張報告

地球環境学研究科 准教授 中島 恵理

英国調査の目的：地域内資源循環（食・エネルギー）、地域経済循環を中心とした地域・農村再生政策、ソーシャルエコノミー推進政策や取組の実践

2月19日 (木)	エセックス大学Jules Pretty教授Deputy Vice-Chancellor and Professor of Environment & Societyとの農村環境政策意見交換 ロンドン大学講師のRichard Wiltshireと農村環境政策意見交換
2月20日 (金)	・ニューエコノミクスファウンデーションElizabeth Cox氏との地域経済政策意見交換 ・NESTA PeterBaeck氏との意見交換 ・Sustain (the alliance for better food and farming) Mr Ben Reynolds氏 Mr Alex Jackson氏との意見交換
2月21日 (土)	元バーミンガム大学アジア研究所の小山先生と地域再生政策について意見交換
2月22日 (日)	前ブリストル市役所ソーシャルエコノミー担当のTed Fowler氏と地域再生政策、ソーシャルエコノミー政策意見交換
2月23日 (月)	オックスフォード大学Environmental Change Instituteとの意見交換 MSc Environmental Change and Management プログラムコーディネーターThomas Thorton氏 気候変動研究チーム Rachel James氏との意見交換 食の研究チーム John Ingram氏 Prof Mike Hamm 氏との意見交換

英国の地域再生政策の変遷

小山氏資料をもとに作成

年代	政権	政策の方向性	政策例
1979-1990	サッチャー政権	福祉国家モデルの解体－自治体機能の縮小 －民営化と規制緩和	－市民の自立とエンタープライズ －公共サービスの外注と競争入札（VFM） 実験の時代－グラウンドワーク
1990-1997	メイジャー政権	地域再生への重点化 パートナーシップの活用 地域分権と政策連携	プロジェクト（競争入札）方式（City Challenge 1991／SRB 1994） 宝くじ基金の設置（1994）
1997-2010	ブレア政権（ブラウン政権）	貧困／社会的排除／地域間不平等問題へのコミットメント Modernising Government アジェンダ（Third Way／Best Value／Stakeholders） サードセクターの強化	パートナーシップ方式のMainstream化と「政策ターゲット」の導入 －Local Strategic Partnership／Local Area Agreement CIC（社会的企業の法人格）：2005年
2010-	連立政権	極度の緊縮財政 経済振興を最優先（貧困や地域間不平等などは無視） Big Societyの考え方（Office for Civil Societyの設置）	コミュニティ分権（Localism Act 2011年） 社会的企業への支援（Social Values Act 2012年）

英国における地域再生の取組・政策で重視されていること

- 地域資源の活用、循環（食、エネルギー、水、自然資源）
- 地域内での地域経済循環の確保
- 環境、福祉・健康、経済、地域作り、社会的排除の克服等の統合的推進
- 緊縮財政の中で、少ない資金で最大限の効果を得るため、取組の端緒への支援ではなく、成果への評価に転換。
- モデル作りを行い、それを全国に展開することよりも、地域独自の取組を支援させ、その経験をもとにシステムや制度を変えていくことへの重点化
- より効果的な政策の“デザイン”“設計”の重要性
- 社会的活動への民間資金の最大限の活用（ソーシャルファンド）
- ・協働の重要性、協働の概念の時代による変遷

協働の概念の進展・変遷

- ・「パートナーシップ」

サッチャー政権：政府と民間企業との連携（自治体機能の縮小）

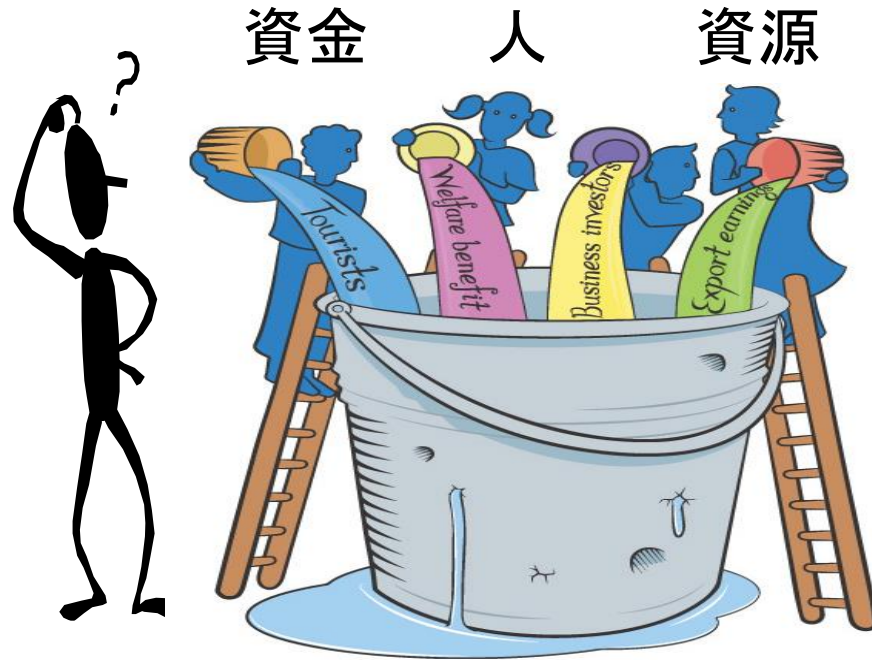
メイジャー・ブレア政権：行政、企業、民間団体、市民の参画するプラットフォームの構築、市民のニーズに基づく事業の構築

- ・「コープロダクション」の重視

アメリカの社会学者Neil Goodwinが提案。NEFとNesta（NESTA）は10年以上、“co-production”についての共同研究を実施。

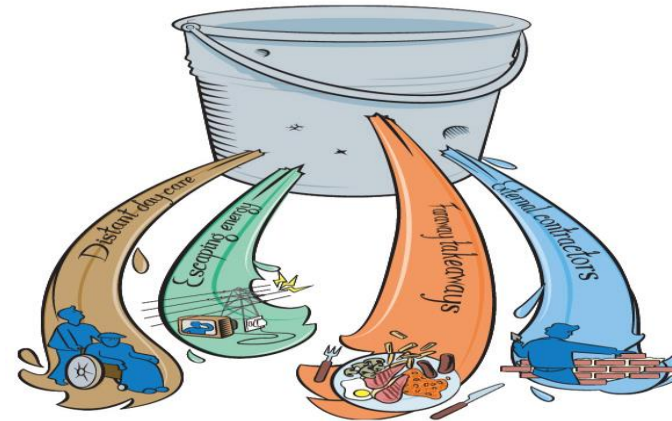
→課題解決策を市民と共に設計し、実施すること。専門家が設計するこれまでの公共サービスを代替するもの。コープロダクションは、市民が公的資金に依存するのではなく、メインストリームの社会で活躍できるように促すことのできる専門家の参画を得て行われる。

New Economics Foundation の Plugging the LEAKS LM3 プロジェクト

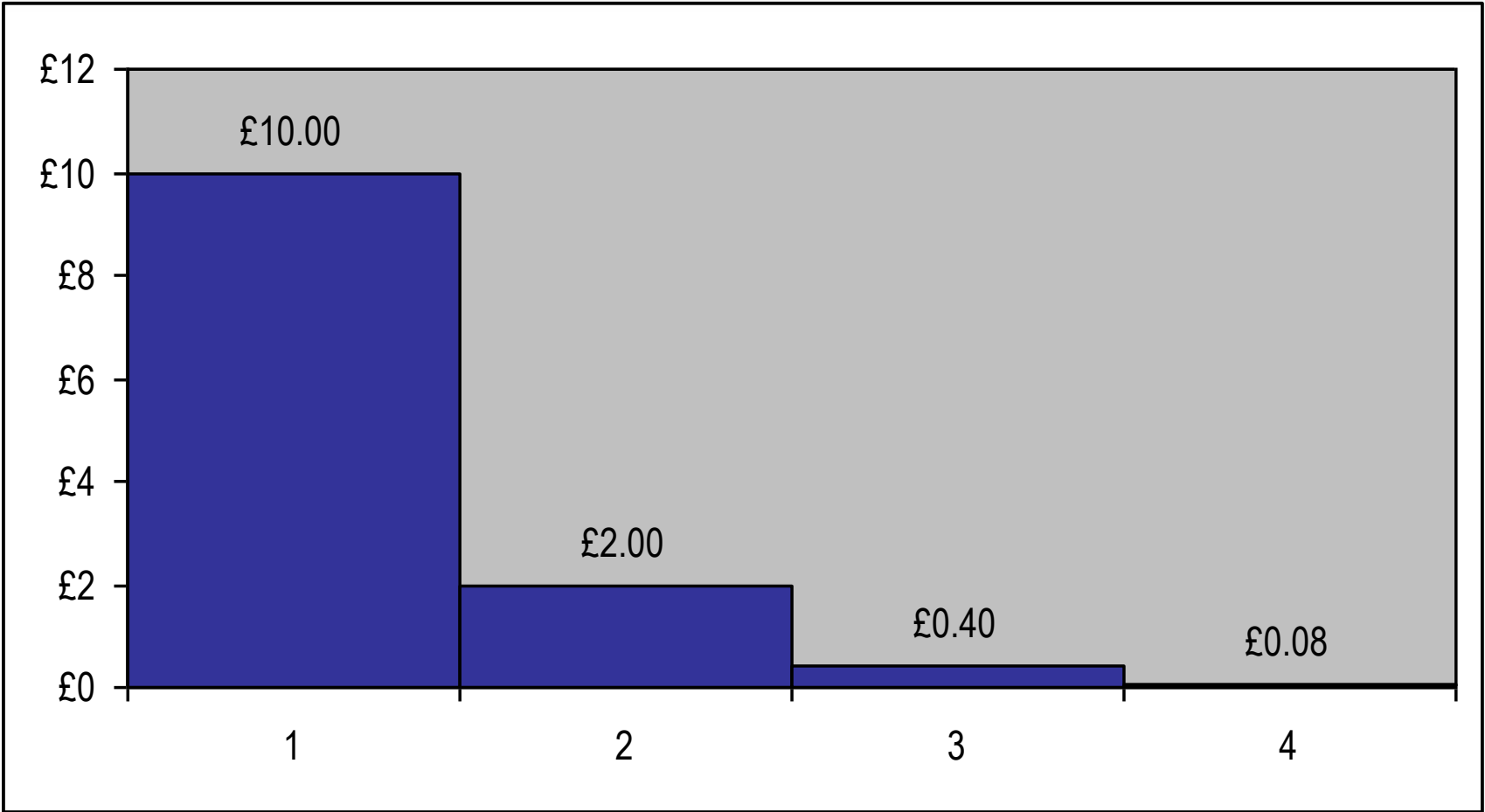


地域・コミュニティ

- ・地域の商店、建設業、製造業、農林業者、行政、病院、学校、市民等の多様な関係者が参加するワークショップを開催。
- ・自らの活動におけるお金の支出先をマップ上に整理し、地域のお金の流れの概略を整理。
- ・地域外に多く漏れている支出項目について、どのようにすれば、地域内で循環させる方策を参加者で意見交換をする。

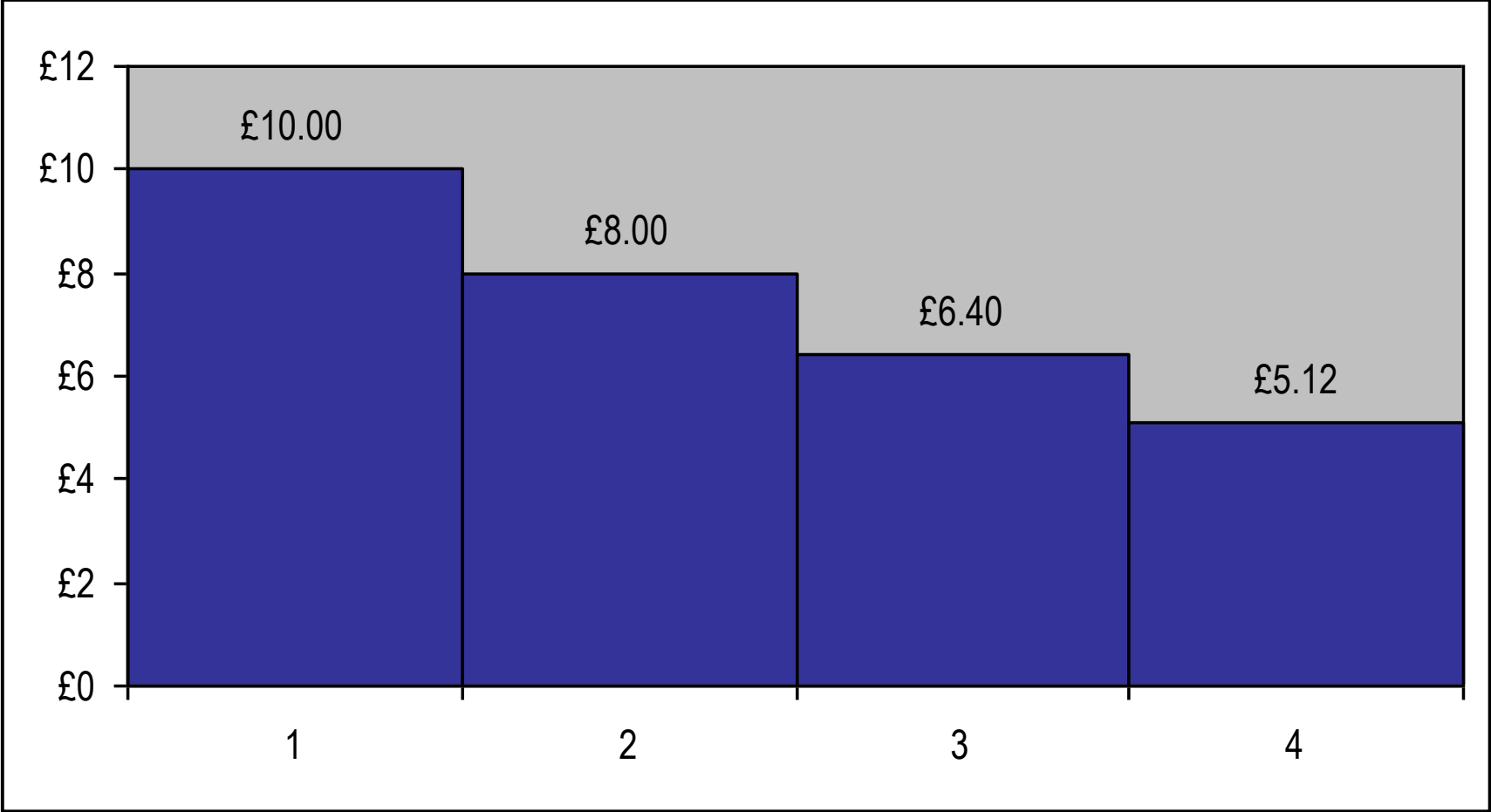


資金の20%が循環する場合



図の出典: New Economics Foundation

資金の80%が循環する社会



80%の資金が地域で循環する場合、10ポンドの資金が50ポンド(5倍)の価値=Local Multiplier(地域経済循環の相乗効果)となり、20%しか循環しない場合は、12.5ポンドの価値に過ぎない。

80% of money stays locally

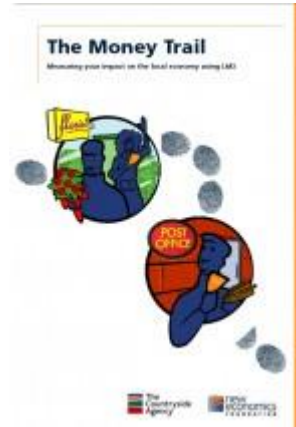
Enters		Remains	
£ 10.00	→	£ 8.00	
£ 8.00	←	£ 6.40	
£ 6.40	←	£ 5.12	
£ 5.12	←	£ 4.10	
£ 4.10	←	£ 3.28	
£ 3.28	←		
Total £ 50.00			

20% of money stays locally

Enters		Remains	
£ 10.00	→	£ 2.00	
£ 2.00	←	£ 0.40	
£ 0.40	←	£ 0.08	
£ 0.08	←		
Total £ 12.50			

New Economics Foundation

Elizabeth Cox 氏 との意見交換



LM3=Local Multiplier 3 地域経済循環度を示す指標
地域に投入されたお金が地域内で活用されたお金(3ラウンド分)/当初の地域内に投入されたお金

LM3は、政府(自治体)調達、食及び農業、社会的企業、金融へのアクセス、社会保障 の取組評価に活用。

LM3のツール開発にあたっては、North Norfolk, Knowsley 等複数の自治体や団体と協働実施。

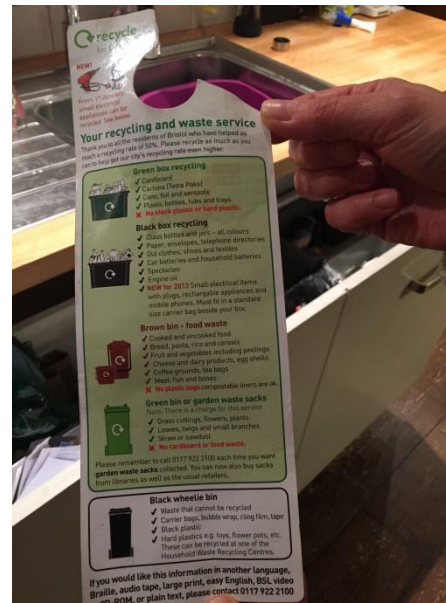
現在は、North East 地域など自治体職員等と協働しながら、指標を活用。

2013年のEUのSocial Value Act(政府の調達や運用をより効率的、効果的に行うために、社会活動の評価)を受け、再び注目

Social Return on Investment(社会的費用対効果)の評価ツールも開発

EUのGreen Capital City ブリストル

- 英国のブリストルは、European Green Capital Award 2015を受賞。
- ブリストルを、住みよい街かつ、低炭素な都市にしていくための独立した推進組織、The Bristol Green Capital Partnershipも、2014年にCommunity Interest Companyとして設立され、これまでに培ってきたソーシャルエコノミーを基盤に、低炭素な取り組みも積極的に行われている。



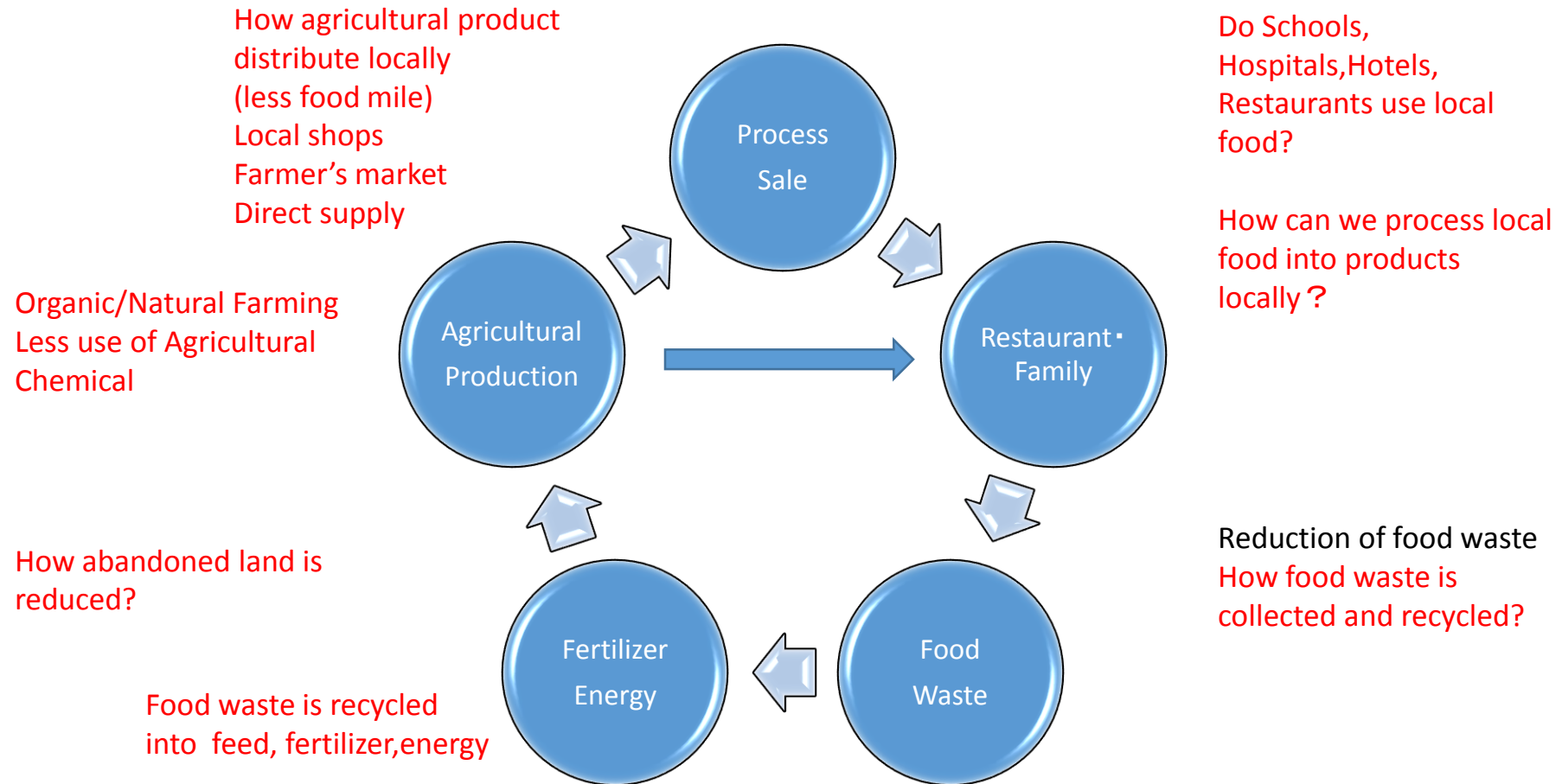
新しい地域通貨 Bristol Pound



コルチェスターの街中で



Sustainable Food ~Local food~



Sustain による「持続可能な食を実現する都市」の認定

○サステイン:英国内の食と農業に関係する100の団体のアンブレラ団体

○サステインが、ソイルアソシエーション(有機農産物の認証団体)、Food mattersと連携して、英国の市町村での持続可能な食に向けて社会を変革する新しいモデルを構築するため、持続可能な食を実現する都市の認定の仕組みを立ちあげ

○「持続可能な食を実現する都市」の認定要件

- ①横断的な関係者の主体が参画する「食」に係るパートナーシップ組織の構築
- ②政策の中への、健康で持続可能な食に関する視点を取り込み
- ③食の戦略の策定、実行計画の実施

○食の戦略にあたっては、以下の観点の取組を盛り込むことが必要

- ①市民に対して、健康的で持続可能な食を推進すること
- ②食の貧困の克服、食に起因する病気を克服し、健康な食へのアクセスを促すこと
- ③地域コミュニティの食に関する知識、スキル、資源を向上させ、プロジェクトを立ち上げること
- ④食の提供及び購入の仕組みを変革すること
- ⑤食品廃棄物及び食に係るエコロジカルフットプリントを削減すること

Sustain のメンバー団体等

Members

Academy of Culinary Arts
Chefs Adopt a School Trust
Association of Public Analysts
Association of School Health
Education Co-ordinators
Baby Milk Action
Behaviour Change
Bio-Dynamic Agricultural
Association
British Association for
the Study of Community
Dentistry
British Dental Health
Foundation
British Dietetic Association
British Heart Foundation
Health Promotion Research
Group
Campaign for Real Ale
(CAMRA)
Campaign for Real Farming
Campaign to Protect Rural
England
Caroline Walker Trust
Centre for Food Policy, City
University
Child Poverty Action Group
Commonwork Land Trust
Community Composting
Network
Compassion in World
Farming
Consensus Action on Salt
and Health
Diabetes UK
f3 the local food consultants
Faculty of Public Health
Fairfood International
Fairtrade Foundation
Family Farmers' Association
FareShare
FARM
FARMA (National Farmers'
Retail and Markets
Association)
Federation of City Farms and
Community Gardens
Feedback
First Steps Nutrition Trust
Food Matters
Forum for the Future
Freedom Food
Friends of the Earth
Gaia Foundation

Garden Organic
GMB (Britain's General Union)
Guild of Food Writers
Harper Adams University
Dept. of Food Science and
Agri-Food Supply Chain
Management
Health Education Trust
HUSH: The UK E.coli Support
Group
Hyperactive Children's
Support Group
Institute for Food, Brain and
Behaviour
International Institute for
Environment & Development
Keep Britain Tidy
Marine Conservation Society
McCarrison Society
National Council of Women
National Federation of
Women's Institutes
National Trust
New Economics Foundation
Northern Ireland Chest, Heart
and Stroke
Organic Centre Wales
Organic Research Centre
(Elm Farm)
Organic Trade Board
Pasture-fed Livestock
Association
Permaculture Association
Pesticides Action Network UK
Practical Action
Royal Society for the
Prevention of Cruelty to
Animals (RSPCA)
Royal Society for the
Protection of Birds (RSPB)
School Food Matters
Scottish Crofting Federation
Slow Food UK
Soil Association
UNISON
UNITE – Agricultural Workers
Group
Vegetarian Society
Wholesome Food Association
World-Wide Opportunities
on Organic Farms
Women's Environmental
Network
World Cancer Research Fund

Observers

Agricultural Christian
Fellowship
Allergy Alliance
Chartered Institute of
Environmental Health
Community Food and Health
(Scotland)
Food Ethics Council
Linking Environment and
Farming (LEAF)
Marine Stewardship Council
Natural England
Royal Society for Public Health
UK Food Group
UK Health Forum
Which?
Wildlife and Countryside Link
WWF-UK

Trustees

David Barling
Rachel Harries
Katharine Jenner
Anthony Kleanthous
Christine Lewis
Philip Lymbery
Tim Marsh
Patrick Mulvany
Mike Rayner DPhil(Chair)
Patti Rundall, OBE
Shaun Spiers
Keith Tyrell
Victoria Williams
Stephanie Wood

Digest

Kelly Parsons

.....
We are overjoyed to
announce that Kath
Dalmeny, Sustain
Coordinator, has given
birth to a baby girl, Eleanor
Jane Dalmeny. Whilst Kath
is on maternity leave,
Ben Reynolds is Acting
Coordinator.
.....

Sustain による「持続可能な食を実現する都市」の認定

○サステインでは、「持続可能な食」について、有機農産品等の環境に負荷の少ない農産品や地産地消の推進、食品廃棄物のリサイクルといった農業、環境の観点だけでなく、食を通じた健康の増進、貧困問題の解決、食に対する教育といった福祉の側面を強調

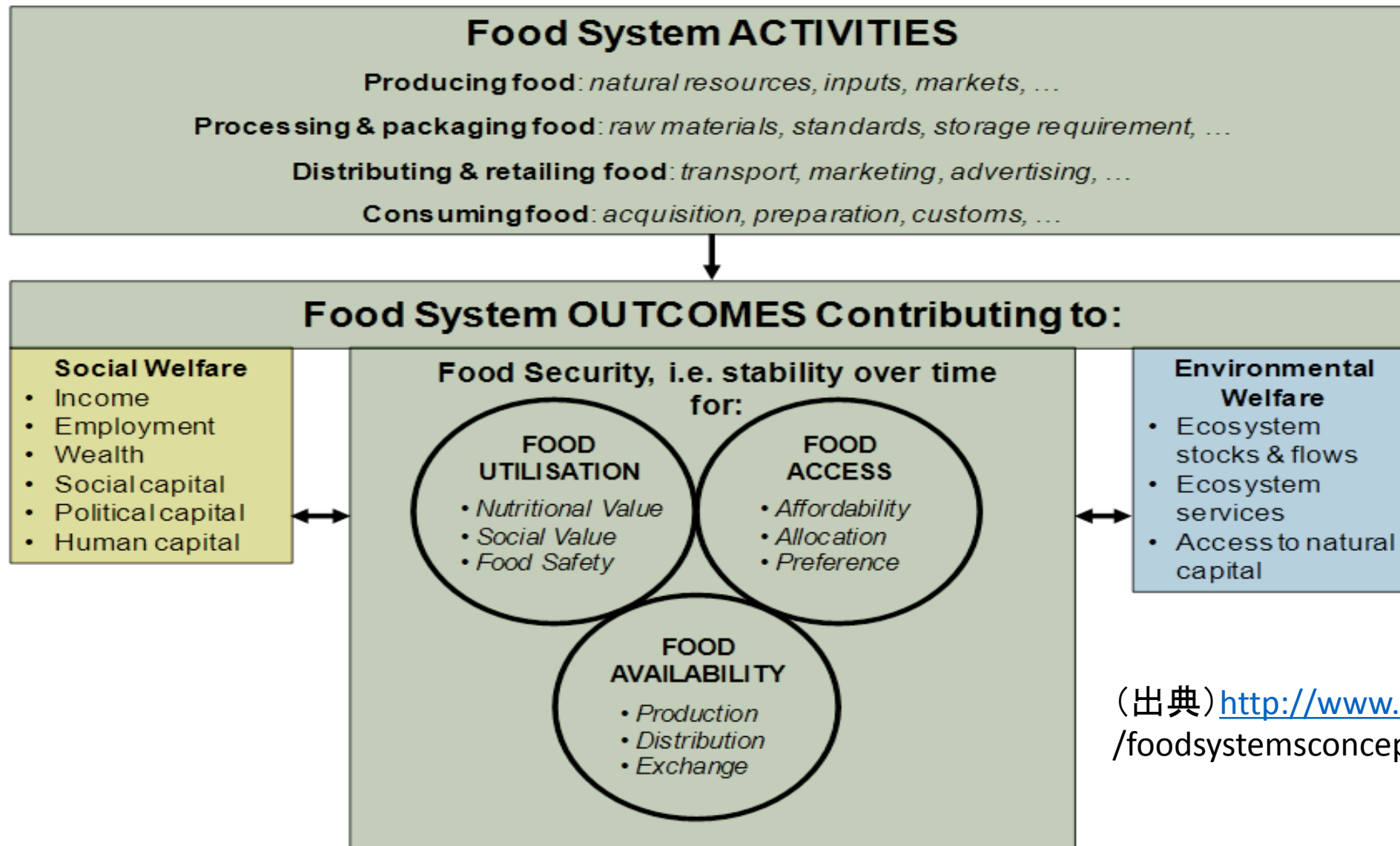
○持続可能な食を実現する都市の取組にあたっては、**農業、環境、福祉、健康、教育、住宅、都市計画等様々な行政の部署が連携して**取組むことが求められる。

○持続可能な食を実現する都市の認定を受けている多くの都市で、**健康や福祉に係る部署**が中心となって取組を始めるケースが多い。

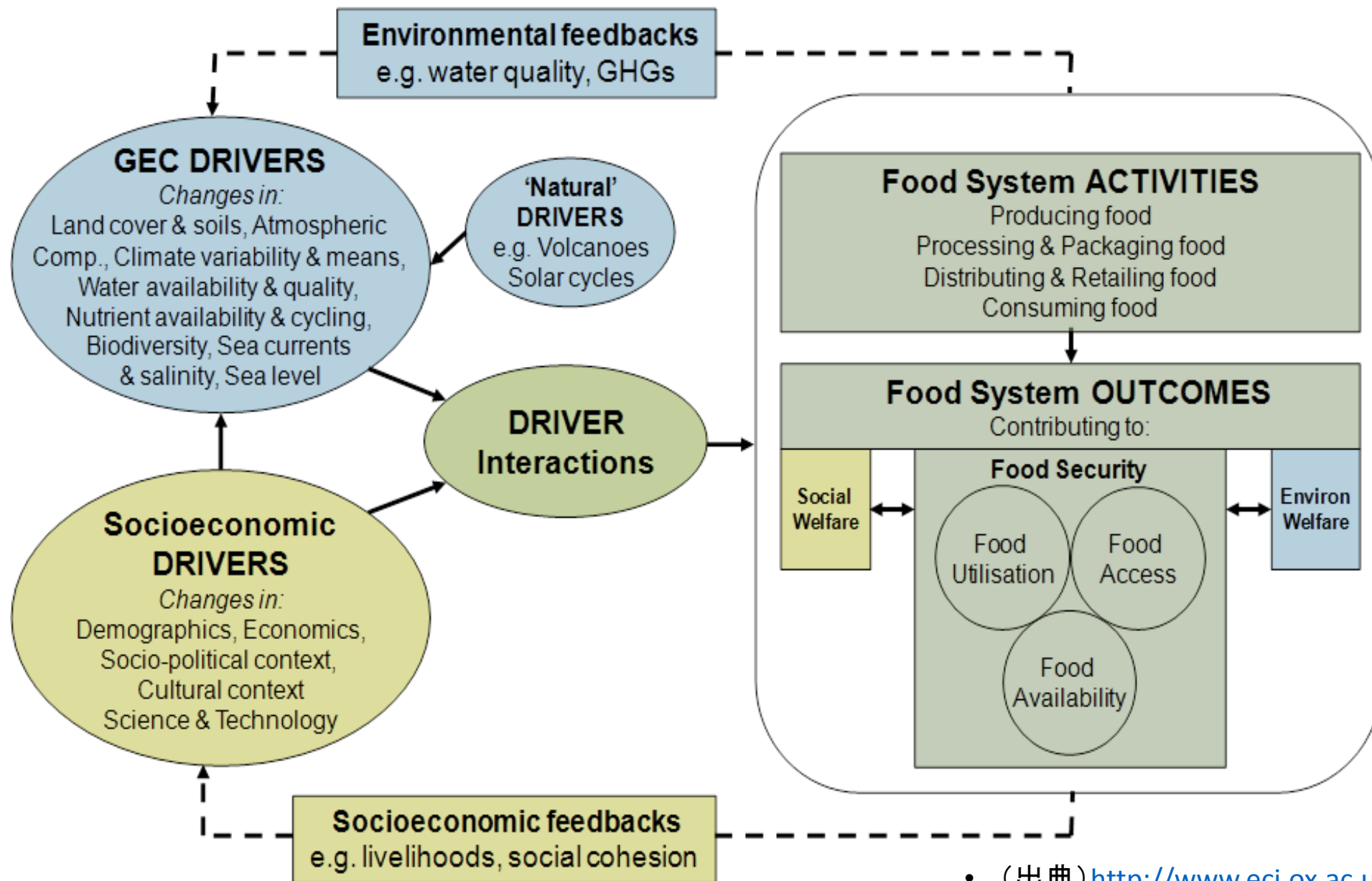
○「持続可能な食を実現する都市」の認定の仕組は、徐々に取組を進展させていくため取組のレベルに応じて**「ブロンズ」「シルバー」「ゴールド」**の3段階の認定の仕組みになっている。

○現在、35の都市で取り組まれ、31の都市で準備中とのことであるが、「ゴールド」の認定を取得している都市はまだない

オックスフォード大学ECI における 食のシステム研究フレームワーク



(出典) <http://www.eci.ox.ac.uk/research/food/foodsystemsconcept.php>



- (出典) <http://www.eci.ox.ac.uk/research/food>
- /foodsystemsconcept.php

エセックス大学 ジュレスプレティ教授 (エセックス大学 vice Chancellor) 農村環境社会 学専門



最近の研究: 持続可能な農業集約化に係る研究
(Sustainable agricultural intensification: 環境への負
荷を削減しながら、自然資本や生態系サービスへの
より良い貢献を増加させ、同じ面積から得られる生
産量を増大させる

- ・手法: Utilising crop varieties

livestock breeds with a high ratio of productivity to
use of externally- and internally-derived inputs;

Avoiding the unnecessary use of external inputs;

Harnessing agro-ecological processes such as nutrient
cycling, biological nitrogen fixation, allelopathy,
predation and parasitism;

エセックス大学の中でのファーマーズマーケット



ブリストル市内のシティファーム



ロンドン市内のシティファーム



英国大手スーパー セインスベリーの野菜売り場



地域と連携して社会革新を促す「NESTA」

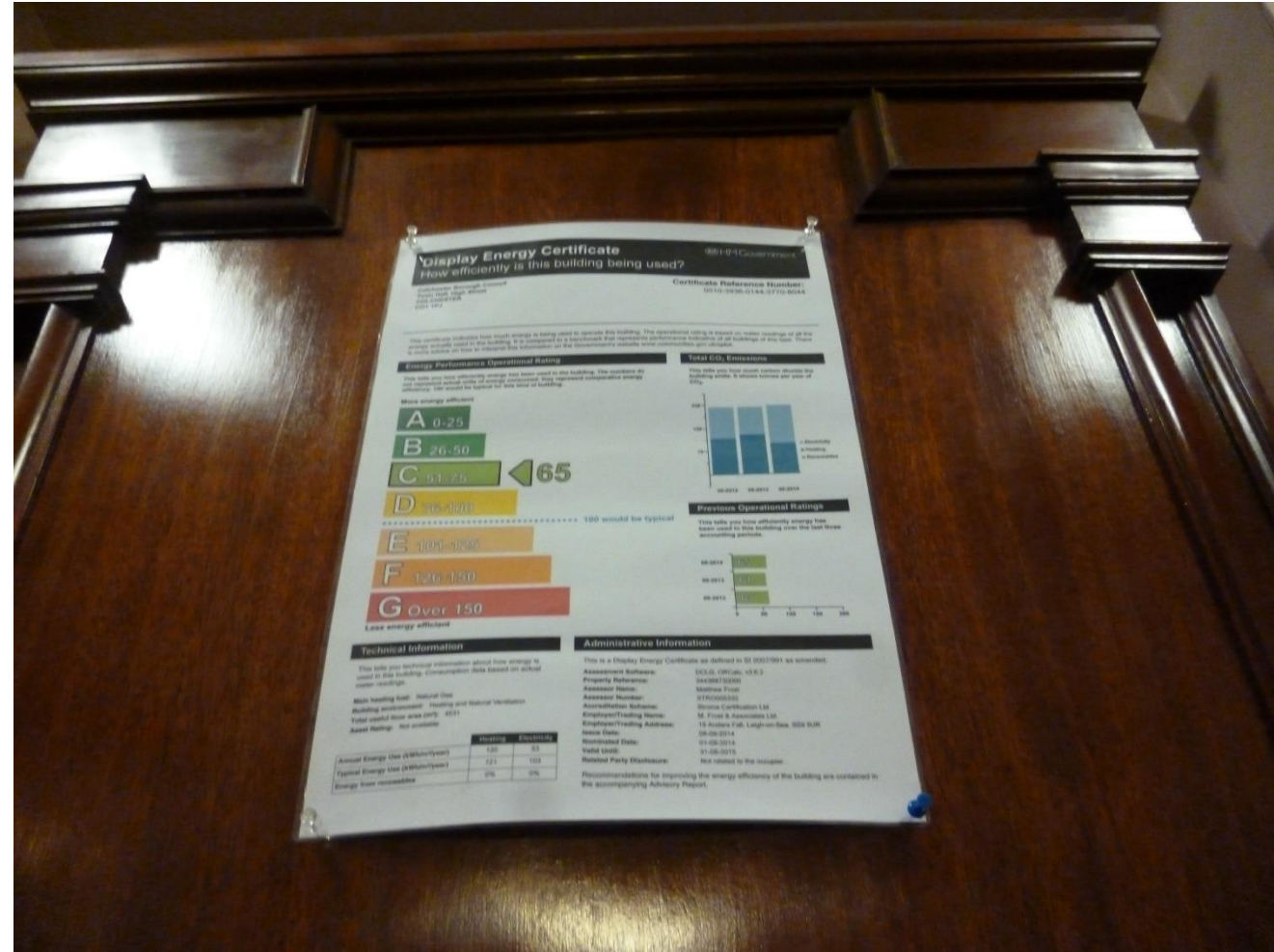
- NESTAは、政府の外郭団体であったが、連日政権のもと独立したチャリティ団体となり、地域の革新的なプロジェクトを支援する中間支援団体。宝くじ資金等を活用して事業を展開。
- Coproductionをベースに、従来型の方法に代わる方法を設計 (Design) し、試行 (test) し、様々な分野にまたがる取組を統一化 (Unify)。
- その結果をprototypingし、その適用の規模的效果 (scale-up) に着目した報告書にまとめる。報告書では、政策立案者にもわかりやすい内容であること、またevidence basedの成果提供 (従来型の方法より、どれだけコストカットできるのか、という説明も重要)。
- また、重要な活動の一環として、一般市民を巻き込んだキャンペーンやイベント (例えば、2年に1回大々的に行うFuture Fest) も行う (社会の注意をひきつけるため)。
- Nestaの活動には、デザイナー (組織外のデザイナー含む) の役割が重要。現在世界的にも、政府が専属の「政策デザインチーム」を持つ傾向が見られるようになっている。

NESTA による Big Green Challenge :緊縮財政の中での新しい支援方策

- ・英国では、コミュニティエネルギー戦略を策定し、地域主導型の再生可能エネルギー事業を推進。
- ・地域コミュニティレベルでの、革新的な省エネ・再エネ等による低炭素化プロジェクトの褒賞・アウトカム方式での支援
- ・2008年、NESTAの公募に対応し、355の団体より多様な低炭素化プロジェクトの提案が寄せられる:コミュニティの中でのイノベーションを刺激し、定量的な変化を達成することが可能な提案
- ・100の団体を選出し、NESTAのBig Green Challenge teamが事業化にあたって支援。
- ・100の団体中、活動の成果を踏まえて、4団体に合計 百万ポンド(約2億円)の賞金を付与(3団体に各30万ポンド、1団体の10万ポンド))

(参考) <http://www.nesta.org.uk/project/big-green-challenge#sthash.Fowhigk5.dpuf>

EUにおける建築の省エネ性能の揭示義務



ロンドンでのサイクリングシェアリング

